

質問者



城村トキ子 議員

Q

町営住宅の火災対策は

A

全戸火災報知器を設置する予定です

町営住宅における火災ですが、平成19年度にほやを含めて2件、今年度に1件発生しています。火災に対する対策としては、町営住宅に限らず、火災が発生しやすい時期にはその都度、消防署から放送で周知をしたり、年末には夜警を通して火のもとに気をつけるよう、住民の皆さんに注意を促しています。また、高齢者や体の不自由な方への対策では周辺の住民による支援が必要であり、地域の自主防災組織を結成強化するなど、隣近所の

問

最近、町営住宅の火災が多く、宗意箱住宅の火災は、これで6件目だ。そのうち2件は不審火。異常と思われるこの事態において、住民、特に高齢者、体の不自由な人たちは大きな不安をいだいている。避難、救護の行政としての対応、対策を伺いたい。

答

中矢総務課長

町営住宅における火災ですが、平成19年度にほやを含めて2件、今年度に1件発生しています。火災に対する対策としては、町営住宅に限らず、火災が発生しやすい時期にはその都度、消防署から放送で周知をしたり、年末には夜警を通して火のもとに気をつけるよう、住民の皆さんに注意を促しています。また、高齢者や体の不自由な方への対策では周辺の住民による支援が必要であり、地域の自主防災組織を結成強化するなど、隣近所の

問

不審火の取り組み

いつどこでという予測できない問題があり、重なる不安を住民は抱いている。町としてのどのような対策を考えているか。

答

中矢総務課長

先月30日未明に、不審火による2件の火災が発生しました。いずれも付近の住民がいち早く発見してくれたため、大事には至りませんでした。住民の皆さんの不安を解消するため、伊予警察署において直ちに全署を挙げて警戒態勢に臨んでい

最近、町営住宅の火災が多く、宗意箱住宅の火災は、これで6件目だ。そのうち2件は不審火。異常と思われるこの事態において、住民、特に高齢者、体の不自由な人たちは大きな不安をいだいている。避難、救護の行政としての対応、対策を伺いたい。

横の連携を図りながら、助け合いの心を深めていくことが肝要であると考えています。なお、町営住宅においては、万が一火災が発生した場合に備えて、今年度中に全戸火災報知器を設置する予定です。

問

自主防災組織の活動報告は

松前町には自主防災組織がある。訓練すること



「防災の 絆深まる バケツリレー」

も大事だが、各地域の活動報告はうけているか。

答

中矢総務課長

本町の自主防災組織は、本年度新たに5地区で結成され、12月1日現在合わせて21地区となり、結成率は96%です。残る地域においても、早期に結成されるよう働きかけます。活動状況は、規約、防災計画、組織図並びに役員名簿などを備え、各

問

防災ワーキングチーム作りについて

自主防災組織のレベルアップのために防災ワーキングチームを作っているか伺いたい。

答

中矢総務課長

各自主防災組織の連携を図るため、それぞれの訓練や研修した内容を情報交換できる組織をつくりたい。

組織ごとに計画に基づいた訓練を実施しています。男女を問わず子供から高齢者まで訓練に参加し、創意工夫しながら、地域防災力の向上を目指して活動が続いています。今後は、それぞれの地域の特性に合った活動を、防災士の養成とあわせて支援していきます。